

家計を圧迫しない 上手な節約術

一家の財務大臣に小言を言われたいためにも、メンテナンスにかかる費用はなるべく抑えたいと思うユーザーは多いはず。節約するためには修理工場との良い付き合いが重要となるのだ。ここでは修理の現場で聞いた上手な節約術を紹介しよう。

■文=GERMANCARS 撮影=G.C.E 協力=セントラルオート

クルマから広がる 出会いも大切に

誰でも多少でも安く修理をしたいという思いは持っているはず。それを実践するためには修理工場との付き合いがキモとなる。そこでセントラルオートの児玉さんに修理の現状と上手な節約術について聞いてみた。

「ATやエンジンヘッドのオーバーホールなど、重整備にお金をかける人は、長く乗ろうという気持ちが表われていますね。修理に来るオーナーさんには必ず聞くんですが、いつまでこのクルマに乗るつもりでいるかを確認してから、メンテナンスを話すようにしてるんです。だから節約と言ってもそのオーナーさんのカーライフのスタイルによって変わってくる

プロによる正しい判断が 本当の節約に繋がる

と思います。

一般的に工賃の節約のためには、できるだけ同時交換がベターですが、壊れてもいないパーツを交換する必要はありません。まだ使えると判断したものは使って、交換時期が来たらそれを交換する。何でもかんでも交換していたら高い費用がかかってしまいますからね。あとはオイル交換ついでにクルマ全体を定期点検しておけば、トラブルが起きても最小限に抑えることができます。もちろんケースバイケースですが、定期的なクルマを見せてもらえばいつどこを交換したかも分かりますし、オーナーさんの乗り方も想像できるようになりますから」

一口に同時交換と言ってもプロによる正しい判断があつてこそ本当の

節約に繋がるのである。

またメカニックとの人間関係も重要なポイント。オイル交換などの定期点検を通じて顔馴染みになり、ビジネス以上の付き合いになることもある。その延長でちょっとしたパーツの交換なら工賃を安くしてもらえたりするお得意様割引のようなこともあり得ない話ではないのである。

セントラルオートでそういったケースがあるかどうかは分からないが、結局は人間対人間がすること。だから、修理をお願いする側も謙虚な気持ちをお忘れずにしたい。俺は客なんだからと横柄な態度を見せてしまったら、ビジネス以上の付き合いになるのは難しい。クルマから広がる出会いが結果的に節約となるケースもあるのだ。



ATのオーバーホールは費用はかかるが、長く乗るなら必要なメンテナンス。その時は大きな出費でも長いスパンで考えれば結果的にはお得になる。



足回りはショックやアッパーマウント、ブレーキパッド、ローターなど一気にやってしまった方が工賃の節約に繋がる。

■問い合わせ=セントラルオート TEL.03-3883-9922



コンピュータユニットは高価なので、中古パーツが飛ぶように売れるとかが、作動確認が取れたものを選ぶようにしたい。

それなりのリスクは覚悟するべし 中古パーツの落とし穴

最近ではインターネットオークションも盛んで、新しいカーライフのスタイルを形成しつつある。中古パーツも多く出品されており、驚くほどの低価格でパーツを手に入れることもある。だが、それなりのリスクは覚悟しておきたい。交換直後は直ったとしても、また同じようなトラブルが起きてしまう可能性も考えられるからだ。それを楽しみながらできる人はいいが、節約のために中古パーツを使う場合は、プロに相談してからの方が無難だ。特に長く乗ろうと思ってる人はなるべく避けたいほうがいいだろう。同じようなトラブルが起きて、結局新品を買う羽目になったら、節約どころか、無駄な出費となってしまう。その場しのぎではなく、長いスパンで考えたパーツのチョイスを心掛けよう。